

- 問1 1873年から実施された地租改正において、それまでの年貢（租税）の制度と大きく異なる点として正しい説明はどれですか。（2026年 山形県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 身分によって税率が異なる仕組みを廃止し、全ての国民が所有する農具や家屋の数に応じて現金で納めるようになった。 | 2. 豊作や凶作によって変動する収穫量を基準にするのではなく、土地の価値である地価を基準とし、現金で納めるようになった。 | 3. 土地の面積のみを基準とする仕組みに変わり、収穫した米を直接政府へ納める物納の制度が強化された。 | 4. 村全体で一括して税を納める仕組みを廃止し、収穫量の3パーセントを基準として米で納めるようになった。 |
|---|--|--|--|
- 問2 日本の対外関係の変遷をまとめた記録において、公地公民の原則が示された飛鳥時代に中国へ派遣された使節と、欧米の視察を通じて近代国家の建設を目指した明治時代初期に派遣された使節の組み合わせとして、正しいものはどれですか。（2023年 京都府公立入試 類似）
- | | | | |
|------------------------|------------------------|------------------------|-------------------------|
| 1. 飛鳥時代：遣唐使、明治時代：岩倉使節団 | 2. 飛鳥時代：日宋貿易、明治時代：条約改正 | 3. 飛鳥時代：遣隋使、明治時代：学制の発布 | 4. 飛鳥時代：朝鮮通信使、明治時代：文明開化 |
|------------------------|------------------------|------------------------|-------------------------|
- 問3 明治初期の地方統治に関する次の記述のうち、廃藩置県の説明として正しいものはどれですか。（2024年 富山県公立入試 類似）
- | | | | |
|--------------------------------------|---------------------------------------|------------------------------------|---------------------------------------|
| 1. 大名が土地と人民を天皇に返還し、自らは知藩事として旧領地を治めた。 | 2. 藩を廃止して府や県を設置し、全国を政府が直接支配する仕組みを作った。 | 3. 満20歳以上の男子に兵役の義務を課し、近代的な軍隊を組織した。 | 4. 土地の価格を基準に、地主に対して現金で税を納めさせる制度を確立した。 |
|--------------------------------------|---------------------------------------|------------------------------------|---------------------------------------|
- 問4 1800年代後半の日本の近代化に関する出来事をまとめた記述において、新政府の樹立を宣言した直後に発生した大規模な戦争の背景として、最も適切なものはどれですか。（2026年 岡山県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 徳川氏の権力を排除して天皇を中心とする新政府を樹立しようとする勢力と、それに抵抗する旧幕府の勢力が武力で衝突した。 | 2. 開国後に物価が上昇し、生活が苦しくなった農民たちが、世直しを求めて各地で一揆や打ちこわしを繰り返した。 | 3. 長州藩や薩摩藩などの有力な藩が、外国勢力を武力で排除するためにイギリスやフランスなどの連合艦隊と戦った。 | 4. 廃藩置県や徴兵制などの新政府の政策に反対する各地の士族たちが、西郷隆盛を担いで最大規模の反乱を起こした。 |
|--|--|---|---|
- 問5 明治政府が租税制度を改革し、地価を基準とした一定額の現金を徴収する仕組みを整えた最大の目的は何か。（2017年 鹿児島県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------------------------------|----------------------------------|-------------------------------------|------------------------------------|
| 1. 米の市場価格を政府がコントロールし、物価の安定を図るため | 2. 農村の貧富の差をなくし、すべての農民の負担を均等にするため | 3. 土地の売買を禁止することで、農民が土地を手放さないようにするため | 4. 豊作や不作といった天候に左右されず、政府の予算を安定させるため |
|---------------------------------|----------------------------------|-------------------------------------|------------------------------------|
- 問6 明治政府が地租改正において、税の基準を「収穫量」から「地価」へ、納入方法を「米」から「現金」へと変更した最大の理由は何ですか。（2017年 愛知県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------------------------------------|----------------------------------|---|--|
| 1. 江戸時代の徴税制度をそのまま引き継ぐことで、農村の混乱を避けるため。 | 2. 農民の税負担を大幅に減らし、自由な経済活動を促進するため。 | 3. 現金の流通を抑えることで、インフレーションを防止し物価を安定させるため。 | 4. 豊作や不作などの天候に左右されず、政府が安定した収入を得られるようにするため。 |
|---------------------------------------|----------------------------------|---|--|
- 問7 明治時代の初期、それまでの伝統的な生活様式に代わって欧米の文化や制度が積極的に取り入れられ、都市を中心に衣食住や社会全体のあり方が大きく変化した現象を何といいますか。（2021年 長野県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 文明開化 | 2. 殖産興業 | 3. 下意上達 | 4. 富国强兵 |
|---------|---------|---------|---------|
- 問8 明治政府が廃藩置県などの改革を通じて、地方の権限を中央政府へ集中させた目的として、最も適切な説明はどれですか。（2025年 和歌山県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 欧米列強に対抗できる国力を養うため、軍事や徴税の仕組みを全国で一元化すること | 2. 地方ごとに独自の法律や通貨を認め、各地域の特色を活かした経済発展を促すこと | 3. 各地の旧藩主に引き続き地方統治を任せることで、新政府への反発を抑えること | 4. 住民が選挙によって知事を選べるようにし、地方自治の仕組みを早期に確立すること |
|---|--|---|---|
- 問9 徴兵令の施行に際し、当時の平民（農民など）の間で起きた反応や、その後の社会の変化について述べた説明として最も適切なものはどれですか。（2026年 栃木県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---------------------------------------|---|--|
| 1. 戸主や学生などは徴兵を免除される規定がなかったため、全ての男子が平等に徴兵された。 | 2. 武士と同じ特権が得られると期待した農民たちが、自発的に軍へ入隊した。 | 3. 労働力を奪われることへの反発から、各地で「血税一揆」と呼ばれる反対運動が起きた。 | 4. この法令によって士族の特権が守られたため、士族による反乱は沈静化した。 |
|--|---------------------------------------|---|--|
- 問10 明治維新の指導者の一人として活躍した政治家で、天皇を中心とする中央集権国家のしくみを整えるために、版籍奉還や廃藩置県などを強力に推進した人物は誰ですか。（2016年 福岡県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 徳川家光 | 2. 天武天皇 | 3. 木戸孝允 | 4. 足利義満 |
|---------|---------|---------|---------|
- 問11 明治政府が行った地租改正について、それまでの江戸時代の年貢の仕組みと比較した説明として、正しいものはどれですか。（2026年 鳥取県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 土地の所有権を国が一括管理するため、課税基準を地価から収穫高に変更し、金貨または銀貨で納めさせた。 | 2. 物価の変動に対応して税収を増やすため、課税基準を米の収穫量から市場価格に変更し、米で納めさせた。 | 3. 農民の負担を減らして耕作意欲を高めるため、課税基準を土地の面積から収穫高に変更し、米で納めさせた。 | 4. 豊作や不作に左右されず政府の収入を安定させるため、課税基準を収穫高から地価に変更し、現金で納めさせた。 |
|--|---|--|--|
- 問12 1870年代の明治政府において、大久保利通が「有司専制」と批判されるほどの強力な指導力を発揮した背景と、その政治体制の説明として最も適切なものはどれですか。（2023年 熊本県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 江戸幕府の仕組みをそのまま継承し、将軍に代わって有力な大名たちが合議制で国の運営を行った。 | 2. 国民から選挙で選ばれた議員による議会を開設し、広く国民の意見を取り入れた民主的な政治を行った。 | 3. 征韓論を支持する士族たちの意見を反映させるため、軍事力を背景とした対外外交を最優先した。 | 4. 薩摩藩・長州藩などの出身者が実権を握り、議会を開かずに官僚主導で富国强兵や近代化を進めた。 |
|--|--|---|--|
- 問13 1872年に公布された学制が目指した、当時の教育の仕組みや内容として最も適切なものはどれですか。（2018年 和歌山県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------------------------------------|---|--|--|
| 1. 兵役の義務を果たすための準備として、男子のみを対象に軍事教育を行う。 | 2. 身分や性別の区別なく、6歳以上のすべての子どもに小学校教育を受けさせる。 | 3. 旧武士階級の特権を維持するため、一部の選ばれた階層のみに高度な専門教育を行う。 | 4. 天皇に対する忠誠や道徳を教えることを最優先とし、国家への奉仕を義務付ける。 |
|---------------------------------------|---|--|--|

答え合わせ・解説

問1	答え 2 豊作や凶作によって変動する収穫量を基準にするのではなく、土地の価値である地価を基準とし、現金で納めるようになった。	明治政府は、政府の収入を安定させるために地租改正を行いました。江戸時代の年貢は収穫量に応じて変動する「米による物納」でしたが、この改革によって、土地の価格である「地価」を課税基準とし、天候などの影響を受けない「現金による金納」へと改められました。これにより、政府は毎年の予算を立てやすくなりました。
問2	答え 1 飛鳥時代：遣唐使、明治時代：岩倉使節団	飛鳥時代には、中国（隋や唐）の進んだ文化や中央集権的な政治制度を取り入れるために遣唐使や遣唐使が派遣され、大化の改新などの国内改革に影響を与えました。一方、明治時代初期には、右大臣の岩倉具視を特命全権大使とする岩倉使節団が派遣され、不平等条約の改正に向けた予備交渉とともに、欧米諸国の進んだ文明を視察しました。平安時代の国風文化の発達による遣唐使の廃止や、江戸時代の鎖国下の外交と混同しないよう注意が必要です。
問3	答え 2 藩を廃止して府や県を設置し、全国を政府が直接支配する仕組みを作った。	1869年の版籍奉還では旧藩主の統治権が形式的に天皇へ返されましたが、1871年の廃藩置県ではさらに踏み込んで藩そのものを廃止しました。これにより、全国が「府」と「県」に再編され、明治政府による統一的な統治が可能となりました。他の選択肢は、版籍奉還、地租改正、徴兵令に関する記述です。
問4	答え 1 徳川氏の権力を排除して天皇を中心とする新政府を樹立しようとする勢力と、それに抵抗する旧幕府の勢力が武力で衝突した。	戊辰戦争は、江戸幕府が滅亡し、天皇を中心とする新たな政治体制が確立される過程で起きた権力争いです。王政復古の大号令によって徳川氏の領地返上などが求められたことに旧幕府勢力が反発したことが直接のきっかけとなりました。新政府軍は最新の兵器を導入して旧幕府軍を各地で破り、日本全国を統治する実権を握りました。これにより、新政府は廃藩置県などの抜本的な改革を進める基盤を得ることとなりました。
問5	答え 4 豊作や不作といった天候に左右されず、政府の予算を安定させるため	江戸時代の年貢は収穫量に応じて納める額が決まる「取箇（とりか）」の仕組みだったため、不作の年は政府の収入が激減するという課題がありました。地租改正によって、収穫高に関わらず「地価」という固定された基準に基づいて「現金」で納税させる仕組みに改めたことで、政府は国家予算を計画的に立てることが可能になりました。
問6	答え 4 豊作や不作などの天候に左右されず、政府が安定した収入を得られるようにするため。	江戸時代の年貢は収穫量に応じて変動したため、政府の収入が天候に左右されて不安定でした。地租改正では、土地の価値である地価を固定し、それを基準に現金で納めさせることで、政府はあらかじめ決まった額の税収を確実に得ることができるようになりました。
問7	答え 1 文明開化	明治政府が近代国家を目指す中で、西洋の技術や思想、生活習慣が急速に広まりました。煉瓦造りの建物やガス灯、太陽暦の採用、ザンギリ頭、牛鍋を食べる習慣などがその代表例であり、これらを通じた社会の近代化を文明開化と呼びます。
問8	答え 1 欧米列強に対抗できる国力を養うため、軍事や徴税の仕組みを全国で一元化すること	当時の日本は、欧米列強に対抗できる強い国を作る必要がありました。そのためには、各藩がバラバラに持っていた権力を取り上げ、政府が全国の資源や兵力を直接動かせる体制を築くことが不可欠でした。この体制により、徴兵制や地租改正といった全国共通の制度が実施可能となりました。
問9	答え 3 労働力を奪われることへの反発から、各地で「血税一揆」と呼ばれる反対運動が起きた。	当時の平民にとって、働き手である男子を軍隊に取られることは生活上の大きな負担でした。また、徴兵を呼びかける「徴兵告諭」の中にあった、体を使って国に尽くすことを意味する「血税」という言葉を、本物の血を抜かれると誤解した人々による「血税一揆」も発生しました。なお、当初は戸主や学生などを対象とした免除規定が存在していました。
問10	答え 3 木戸孝允	幕末の薩長同盟において重要な役割を果たした人物で、明治新政府では廃藩置県などの改革を主導しました。これらは、江戸時代まで続いていた藩の仕組みを廃止し、全国を政府が直接統治する中央集権体制を確立することを目的としていました。
問11	答え 4 豊作や不作に左右されず政府の収入を安定させるため、課税基準を収穫高から地価に変更し、現金で納めさせた。	江戸時代の年貢は米の収穫高に応じて決まっていたため、天候不順による不作などが政府の財政を不安定にする要因となっていました。明治政府はこの問題を解決し、近代化のための安定した財政基盤を築くために、土地の価格（地価）を基準とし、豊作・不作といった作柄に関係なく、一定の額を現金で納めさせる制度を整えました。
問12	答え 4 薩摩藩・長州藩などの出身者が実権を握り、議会を開かずに官僚主導で富国強兵や近代化を進めた。	大久保利通は、欧米列強に対抗できる国家を作るためには強力な中央集権体制が必要だと考え、内務卿として実権を握りました。この藩閥（はんぼつ）勢力による独占的な政治手法が、後に板垣退助らによって「有司（役人）による専制的な政治」であると批判され、自由民権運動が盛り上がるきっかけとなりました。
問13	答え 2 身分や性別の区別なく、6歳以上のすべての子どもに小学校教育を受けさせる。	学制は「国民皆学（誰もが学ぶこと）」を理想とし、それまでの寺子屋などの教育環境を再編して、全国に小学校を設置しようとした。これは、近代化を進めるための人材育成を目的とした、日本初の本格的な教育改革でした。